

海外 M&A の最新実務傾向

～2023年時点の海外 M&A に関するホットトピックを中心に～

講師 かもとわたる **加本 亘 氏** ホーガン・ロヴェルズ法律事務所外国法共同事業
パートナー・弁護士・ニューヨーク州弁護士

日時 2023年12月14日(木) 午後1時30分～午後4時30分

■このセミナーは Zoom でご受講いただけます。お申し込み後に詳細をメールでお送りします。
■当日のご参加が難しいお客様には、後日動画を配信できません(開催前のお申し込みが必要です)。

コロナ問題が収束した今年、海外 M&A を実行することを検討する日本企業が増えています。特に私の周りでは、日本企業による米国会社に対する M&A や出資案件の問い合わせが急増しています。

一方で、不安定な国際政治情勢を背景に、米国に限らず、各国当局による外資規制や競争法の運用も厳しくなっており、海外 M&A において当局対応(例:米国の CFIUS、各国独禁当局)の比重が増しているのが 2023 年の海外 M&A の特徴と言えます。またもう一つの特徴として、入札プロセスではない相対で交渉がなされる案件も増えています。コロナ前までは売主が非常優位な状況で交渉がなされる傾向が強く、買主としては入札プロセスで選定されなければ話にならなかったところ、最近では、必ずしも売主優位な状況ではない案件も増えており、入札プロセスではない相対の交渉案件が増えてきた印象があります。

極度の円安の局面では、日本企業にとっては、入札プロセスよりも相対での交渉案件のほうが現実的に前に進む可能性が高い状況です。もっとも、必ずしも売主優位ではないということは価格交渉で時間がかかるということも意味するので、売主と買主の間で価格の折り合いがつかない場合の工夫(例:アーンアウト条項の提案)が重要になります。

さらに、日本企業において、買主としての立場ではなく、売主として海外事業の一部をカーブアウトして他社に売却する案件も増えています。カーブアウトも初期段階のアプローチを間違えると時間を要し、結局うまく進まないという展開もあるので注意が必要です。

以上の傾向はおそらく来年も続きますので、ご参考になればと思っています。

1. LOI の締結に際しての留意点
2. DD における留意点(クリーンチーム方式の DD など)
3. 相対の M&A 契約交渉: 契約条項における米国型と英国型との比較
4. 入札案件の場合の心構え
5. 表明保証保険について法務担当者が知っておくべきこと
6. 上場会社の買収における検討事項(スキーム、DD、ディールプロテクションなど)
7. 独禁ファイリングに関するポイント(「ガンジャンピング」とされるリスクへの対応)
8. 外資規制(米国の CFIUS への対応や各国の FDI 規制)
9. 金額交渉が難航する場合の対応(アーンアウト条項の利用など)
10. カーブアウト M&A の留意点
11. 少数株主出資: SHA(株主間契約)の留意点など
12. 海外へのファンドへの出資案件

企業所属の弁護士さんは大歓迎ですが、弁護士事務所とその関連団体所属の方はご遠慮願います。

【講師紹介】専門は、M&A、国際税務、労務。

2000年-2006年 Freshfields Bruckhaus Deringer(法律事務所)勤務。2007年-2011年 Allen&Overy(法律事務所)勤務。2012年1月-2015年4月日比谷中田法律事務所パートナー弁護士。2012年4月-2014年12月、外資系金融機関のジェネラル・カウンセラー兼任。2015年5月より Hogan Lovells(法律事務所)にパートナー弁護士として勤務。1996年東京大学法学部卒業。同年司法試験合格。2000年弁護士登録(52期)。2006年ニューヨーク州弁護士登録。2005年ニューヨーク大学(NYU)国際租税修士課程(International Taxation LLM)、2006年、ニューヨーク大学(NYU)租税法修士課程(Taxation LLM)修了。著書に「国際タックスプランニングの実務」(中央経済)、「弁護士のための租税法」(千倉書房、共著)など。IFA 会員、2011年 IFA パリ大会ブランチレポーター。

※録音・録画・ビデオ撮影はご遠慮下さい。

■主催 **金融財務研究会**
<https://www.kinyu.co.jp>

Facebook: <https://www.facebook.com/keichoken>
Twitter: <https://twitter.com/keichoken05>
Blog: <https://www.kinyu.co.jp/blog/>



開催日

2023年12月14日(木)
13:30~16:30

本セミナーは Zoom で開催いたします。当日のご参加が難しいお客様には、録画した動画を後日配信することが可能です。(開催前のお申し込みが必要です)。後日配信をご希望の場合は、申込書質問欄のチェックボックスにチェックを入れてください。原則として、参加費をお振込みいただいた後に、メールで詳細をお送りいたします。

参加費

1名につき35,500円(消費税、参考資料を含む)
1社2名以上同時に参加お申込みいただいた場合、お2人目から1名につき30,000円になります。
追加申込みの場合はその旨をご記入下さい。

申込先

金融財務研究会 ホームページ <https://www.kinyu.co.jp/>
〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町1-10-8 グリンヒルビル
TEL 03-5651-2030 FAX 03-5695-8005

申込方法

上記ホームページの申込欄からお申し込み下さい。参加申込書を FAX 又は郵送いただいておりますお申し込みも承ります。折り返し受講証と請求書を郵送致します。参加費は下記の普通預金口座に開催日前日までにお振込み下さい。(但し経理の都合等で間に合わない場合は、ご連絡いただければお待ちいたします。)クレジットカードご利用の場合は、質問欄にその旨をご連絡下さい。参加費の払戻しは致しませんので、当日ご参加になれない場合は、代理の方のご出席あるいは当社および金融財務研究会主催の他のセミナーへのお振替をお願いします。(但し新しいセミナーの参加費との差額が2,000円以上の時は差額をお支払いいただきます。また、振替は1年以内にお願いたします。)

ご記入いただきました個人情報にはセミナーの開催のために使用させていただきますが、漏洩などがないよう最善の予防、是正に努めます。詳しくは弊社ホームページをご覧ください。

普通預金 口座名 (株)金融財務研究会

三菱 UFJ 銀行 本店	1642356	三井住友銀行 本店営業部	7397637
三菱UFJ信託銀行 本店	2818151	みずほ銀行 東京営業部	1427715
三井住友信託銀行 本店営業部	2993982	りそな銀行 東京営業部	1693669

◇クレジットカードは Visa、Mastercard、American Express、JCB、Diners Club、Discover がご利用いただけます。

切らずにこのままお送り下さい

FAX 03-5695-8005

海外 M&A の最新実務傾向

[Zoom] 12 / 14

参加申込書

2023年 月 日

受講方法 <input type="checkbox"/> LIVE配信 <input type="checkbox"/> 後日配信 弊社からのお知らせ、メルマガの送信を <input type="checkbox"/> 受信する <input type="checkbox"/> 受信しない 講師へのメールアドレス開示に <input type="checkbox"/> 同意する <input type="checkbox"/> 同意しない クレジットカードをご利用の場合は下記に✓を入れて下さい。 <input type="checkbox"/> クレジットカード利用 セミナーコード 2345 (Law-k232345)	会社名	TEL FAX		
	所在地	E-Mail 〒		
	参加者ご氏名	部課名		
	〃	〃		
	〃	〃		
	〃	〃		
書類送付先 (同上の場合記入不要)	ご担当者 TEL	部課名 FAX		

お申込の翌日には「受講証・請求書」を発送しておりますが、お手元に届かない場合は、弊社までご連絡下さい。